

丹沢：横山協クライミングコンペ

- ◆日程 2019年10月6日(日)
- ◆メンバー L：日比野、柳、大山、西山
- ◆天候 晴れ

今年も何とかメンバーが4名そろい3年連続の入賞を狙って参加した。コンペの1週間前にはJ-WALL、2週間前にはストーンマジックでそれぞれリードの練習を行った。普段のボードトレではリードの練習をあまり行わないのでクリップに不安が残る。

今年のコンペは昨年より参加者が10人以上増え26名。4名以上参加しているチームは我々を含め4つある。これだと昨年までの数で勝負の入賞狙いが厳しい。予選のコースのレベルは、Aルートが5.10a～b。Bルートが5.10c～dと我々にとっては少し難しめである。

予選が始まり次々とAルートを完登していく。これはもしかしたら自分も完登できるかもしれないと思いながら順番が回ってくる。傾斜の緩やかな前半は順調に登っていく。しかし、10mを超えたところで傾斜がきつくなると厳しさがまったく変わってくる。こんなに早く腕が疲れてしまうのかと自分で驚いた。こうなると先に進むことができず完登はできなかった。Bルートも同じで、10m位までは行けるが、傾斜がきつくなると先に進めなくなる。期待していた大山さんも自分と同じように傾斜がきつくなったところで終了になっていた。結果は団体戦5位で3年連続の入賞は逃した。悔しいが練習不足なので仕方ない。

来年に向けての課題は、ボードでのリードクライミングの練習回数を増やす。クロスでのクリップ練習。傾斜のきついルートでの練習。来年のコンペまでにはJ-WALLの入口付近にあるリードのルートを登れるように練習をしようと思った。

他の山岳会のうまい人の登り方を見るのはすごく参考になるし、ビレイの仕方など近くにいる人がアドバイスをしてくれたりする。会をまたいでおしげもなくアドバイスをしてくれる雰囲気がとてもいい。来年は6～7名集まるといいなあ。(記：日比野)



2019年成績表(団体戦)

所属山岳会名	上位4名合計	団体順位
霧峰山岳会	262	1
横浜友雁会	228	2
ベルニナ山岳会	205	3
MSC	194	4
横浜山の会	164	5
横浜山岳会	120	6
横浜蝸牛山岳会	71	7